

北九州埠頭株式会社

I 法人の概要（平成 24 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市門司区港町 9 番 11 号

2 設立年月日

昭和 32 年 10 月 30 日

3 代表者

代表取締役社長 植野 國次

4 資本金

10,000 千円

5 北九州市の出資金

5,120 千円（出資の割合 51.2%）

6 役職員数

- ・ 役員数 6 人
 - うち常勤 1 人（うち北九州市からの派遣職員 0 人）
 - うち非常勤 5 人
- ・ 職員数 32 人（うち北九州市からの派遣職員 0 人）

II 平成 23 年度事業実績

北九州埠頭株式会社は、北九州港の効率的な運営を図り、その機能を最高に発揮させることを目的として、各種埠頭施設の管理運営、維持管理業務等の事業を行っている。

平成 23 年度の業績概要は、総収入 411,251,670 円、総支出 390,315,355 円、税引前当期純利益 20,936,315 円となった。

1 受託事業について

平成 23 年度は、

- ・ 港湾施設性能維持外業務
- ・ 港湾施設管理運営業務
- ・ 港湾保安対策用電気設備保守点検業務
- ・ 西海岸可動橋開閉業務

を北九州市から受託して実施した。

本市の指導の下、業務の円滑な遂行と、港湾施設の効率的な運営、安全性の確保、港湾利用者の利便性の向上に努めながら、業務を遂行した。

2 自主事業について

平成 23 年度は、

- ・新門司マリーナ施設運営業務
- ・田野浦特定埠頭運営業務
- ・リサイクルポート施設運営業務
- ・船舶給水販売業務
- ・若松月極駐車場業務

等を実施した。

主要自主事業の概況は次のとおり。

【新門司マリーナ施設運営業務】

当施設の収支向上を図るため、平成 22 年度から入会時の契約保証金の無料化、新料金制度の導入等を実施し、艇置数の増加対策を講じてきた。

平成 23 年度は、開業 20 周年を迎えたことから、施設を一般に広く周知する絶好の機会として、積極的な広報活動を実施するとともに、開業 20 周年事業として、市民の利用促進や人材育成を目的に各種イベントを開催した。

【田野浦特定埠頭運営業務】

平成 22 年度から、岸壁と荷さばき地とを一体的に効率よく利用できる料金設定を行い、利便性の向上を図ってきた。

平成 23 年度は、これまで未利用であった荷さばき地の一部について、新たな利用が開始され、当施設の更なる利用が図られた。

【リサイクルポート施設運営業務】

利用者の利便性向上や手続きの簡素化を図るため、平成 19 年度から一元管理を行っている。

平成 23 年度は合計 10 回の利用があり、汚泥及び廃プラスチックの取扱いが 4,630 トンであった。

【船舶給水販売業務】

田野浦 1 号岸壁～8 号岸壁への接岸船舶を対象に、給水販売を行った。

平成 23 年度の給水販売実績は、115 隻、14,239 トンであった。

【若松月極駐車場業務】

周辺駐車場との競合対策として、料金設定の見直しを実施した。

また、契約台数の更なる増加を図るため、駐車場舗装路面の整備等を行った。

3 部門別収入実績

事業別	部門別	収入	収入比率
受託事業	港湾施設性能維持外業務	232,974,996 円	56.65%
	港湾施設管理運營業務	79,900,000 円	19.43%
	港湾保安対策用電気設備保守点検業務	1,250,000 円	0.30%
	西海岸可動橋開閉業務	3,900,000 円	0.95%
	合 計	318,024,996 円	77.33%
自主事業	新門司マリーナ施設運營業務	42,786,597 円	10.40%
	田野浦特定埠頭運營業務	26,381,059 円	6.41%
	リサイクルポート施設運營業務	967,538 円	0.24%
	船舶給水販売業務	8,475,350 円	2.06%
	若松月極駐車場業務	6,733,959 円	1.64%
	その他業務	3,160,424 円	0.77%
	経営委任施設管理運營業務	326,023 円	0.08%
	合 計	88,830,950 円	21.60%
営業収入合計		406,855,946 円	98.93%
営業外収益他		4,395,724 円	1.07%
総 合 計		411,251,670 円	100.00%

4 設備投資等の状況

平成 23 年度において実施した設備投資等の総額は約 9,400,000 円であり、その主なものは次のとおり。

- ① 新門司マリーナクラブハウスシャッター設置等
- ② 新門司マリーナクラブハウス 1 階出入口電気鍵設置等
- ③ 新門司マリーナクラブハウス蛍光灯器具取替
- ④ 久岐の浜駐車場舗装補修等
- ⑤ 新門司マリーナクラブハウスエントランスロビーフロアタイル張替等

Ⅲ 平成23年度決算

1 貸借対照表

平成24年3月31日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
1 流動資産	257,415,539	1 流動負債	63,126,873
現金及び預金	206,735,945	未払金	3,005,280
未収金	37,193,494	未払費用	32,168,637
貯蔵品	13,486,100	前受金	18,808,689
2 固定資産	139,265,555	預り金	1,361,867
（有形固定資産）	132,150,108	賞与引当金	3,188,000
建物	109,622,205	未払消費税	1,095,000
減価償却累計額	▲31,916,261	未払法人税等	163,400
建物付属設備	26,263,867	1年以内に返済 予定の長期借入金	3,336,000
減価償却累計額	▲17,278,522	2 固定負債	67,937,138
車両運搬具	12,248,214	長期借入金	27,204,000
減価償却累計額	▲12,051,068	退職給付引当金	40,733,138
工具・器具・備品	16,262,308		
減価償却累計額	▲14,317,429		
構築物	7,541,350		
減価償却累計額	▲2,762,450		
リサイクルポート施設	47,600,000		
減価償却累計額	▲28,508,854		
田野浦特定埠頭施設	51,300,952		
減価償却累計額	▲31,854,204		
（無形固定資産）	348,467		
電話加入権	62,000		
ソフトウェア	286,467		
（投資その他の資産）	6,766,980		
投資有価証券	5,000,000		
敷金	1,671,600		
預託金	95,380		
		負債の部合計	131,064,011
		（純資産の部）	
		1 株主資本	265,617,083
		（資本金）	10,000,000
		（利益剰余金）	256,017,083
		利益準備金	2,500,000
		繰越利益剰余金	253,517,083
		（自己株式）	▲400,000
		純資産の部合計	265,617,083
資産の部合計	396,681,094	負債及び純資産の部合計	396,681,094

2 損益計算書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
1 営業収益		
施設性能維持外業務受託料	232,974,996	
港湾施設管理運営業務受託料	79,900,000	
西海岸可動橋開閉業務外受託料	3,900,000	
保安対策用電気設備保守点検業務受託料	1,250,000	
燐鉱石業務収入	326,023	
船舶給水収入	8,475,350	
駐車場収入	6,733,959	
マリーナ保管料	30,170,863	
マリーナテナント料	12,615,734	
リサイクルポート施設収入	967,538	
田野浦特定埠頭施設収入	26,381,059	
その他業務収入	3,160,424	406,855,946
2 営業費用		
営業費	159,818,455	
一般管理費	229,607,975	389,426,430
営 業 利 益		17,429,516
(営業外損益の部)		
3 営業外収益		
受取利息	66,216	
雑収入	514,676	
保険金収入	49,832	630,724
4 営業外費用		
支払利息	742,039	742,039
経 常 利 益		17,318,201
(特別損益の部)		
5 特別利益		
賞与引当金取崩益	3,765,000	3,765,000
6 特別損失		
固定資産除却損	146,886	146,886
税 引 前 当 期 純 利 益		20,936,315
法人税・住民税及び事業税		5,290,700
当 期 純 利 益		15,645,615

IV 平成24年度事業計画

1 受託事業について

中核事業である北九州市からの受託業務について、可能な限り業務を受託できるよう、業務の徹底した効率化及びコストの徹底削減を推進するとともに、受託業務の遂行実績や技術力による優位性を活かした競争力の強化を図っていく。

2 自主事業について

平成 23 年度における事業収入の内訳は、自主事業による収入の占める割合が全体の約 22%程度となっており、営業外収益の 1%を除いた残り約 77%が受託事業による収入となっている。経営基盤の安定化を図るには、自主事業比率の向上に向けた組織体制の充実が必要である。

したがって、既存事業の収支向上と新規自主事業の拡大を図るため、次の取り組みを強化する。

- ・これまで培った技術力やノウハウを最大限活かし、大型荷役機械等の保守管理業務の受注に向けた営業活動の実施
- ・新門司マリーナ施設運營業務の経営改善及びP R活動の推進
(艇置利用者増加策の強化)
- ・リサイクルポート施設運營業務の集荷に向けた営業活動の実施
- ・田野浦特定埠頭運營業務の施設の利用促進活動の実施

3 主要な事業内容（平成 24 年 3 月 31 日現在）

事業別	部門別	業務内容
受託事業	港湾施設性能維持外業務	太刀浦クレーン等維持管理業務
		夜間入港準備作業及び立会業務
		新門司マリーナ施設維持管理業務
		太刀浦・白野江トンネル施設保守業務
		新門司・西海岸・浅野可動橋維持管理業務
	港湾保安対策用電気設備 保守点検業務	ソーラス条約による港湾保安対策用電気設備の 保守点検業務
	港湾施設管理運営業務	港湾施設の巡回・監視及び施設の使用許可、収 入調定等に関する業務
自主事業	経営委任施設管理運営業務	田野浦埠頭における燐鉱石揚積に関する業務
	船舶給水販売業務	船舶で使用する水道水の販売 (北九州市水道局許可事業)
	若松月極駐車場業務	月極の賃貸駐車場
	新門司マリーナ施設運営業務	プレジャーボート、ヨットの艇置保管及び管理 運営、クラブハウスのテナント賃貸
	リサイクルポート施設運営業務	循環資源取扱荷さばき地の管理運営
	田野浦特定埠頭運営業務	荷さばき地及び前面の岸壁を一体的に管理運営 する特定埠頭事業
	その他業務	業者等の依頼による軽微な助勢作業

V 平成 24 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月 31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
1 営業収益		
施設性能維持業務受託料	231,800	
港湾施設管理運営業務受託料	79,000	
西海岸可動橋開閉業務外受託料	3,850	
保安対策用電気設備保守点検業務受託料	1,280	
燐鉱石業務収入	300	
船舶給水収入	7,000	
駐車場収入	7,000	
マリーナ保管料	29,000	
マリーナテナント料	13,000	
リサイクルポート施設収入	800	
田野浦特定埠頭施設収入	26,000	
その他業務収入	1,000	400,030
2 営業費用		
営業費	161,650	
一般管理費	224,280	385,930
営 業 利 益		14,100
(営業外損益の部)		
3 営業外収益		
受取利息	60	
雑収入	150	
保険金収入	0	210
4 営業外費用		
支払利息	500	500
経 常 利 益		13,810
(特別損益の部)		
5 特別利益		
賞与引当金取崩益	3,190	3,190
6 特別損失		
固定資産除却損	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益		17,000

VI 役員名簿

平成 24 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	植野 國次	北九州埠頭株式会社
取締役	中崎 剛	北九州市港湾空港局長
〃	大田 耕作	太平洋セメント株式会社九州支店長
〃	山田 高寛	三菱マテリアル株式会社九州工場 副工場長
監査役	杉本 浩也	太平洋セメント株式会社九州支店 業務部長
〃	中川 二水	小野田化学工業株式会社門司工場 執行役員工場長